

学年・教科・担当者	3年・美術・宮野 篤子
-----------	-------------

学期	月	学習内容	学習のねらい
1	4	*オリエンテーション	○一年間の学習内容を理解する。 ○画面構成を工夫し、遠近や広がり表現する力を身に付ける。 ○効果的なタッチ等学び、根気よく制作する力を育てる。 ○作品の発表、鑑賞を通し、お互いの作品の良さや表現の違いを認識させる。 ○日本の美術や伝統と文化に対する理解を深める(1)
	5	*遠近法	
	6	*鑑賞	
	7	*鑑賞  *切絵	
2	9	*消しゴムスタンプ(和模様)	○日本の美術や伝統と文化に対する理解を深める(2)
	10		○写真をもとに、切絵になるように単純化した図案を作成。白と黒のみで切り絵表現をする。
	11		○作品の発表、鑑賞を通し、感じ方や表現の違いを認識させる。
	12		○日本の伝統模様について学び、和の模様を考える。 ○和で繰り返し模様になるように、パターンを考える。 ○作品の発表、鑑賞を通して、お互いの作品の良さや美しさを感じ取る。
3	1	*中学校美術最後の時間	○自分の成長や変化、美術を通して学んだことを話し合う。
	2		
	3		

評価について	
評価の観点	評価の方法
知識・技能 ・対象や事象を捉える造形的な視点について理解している。 ・表現方法を創意工夫し、創造的に表している。	作品、テスト、 ワークシート、アイデアスケッチなど
思考・判断・表現 ・造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考えると共に、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。	作品、テスト、 ワークシート、アイデアスケッチ、 鑑賞プリントなど
主体的に学習に取り組む態度 ・美術の創造活動の喜びを味わい主体的に表現及び鑑賞の幅広い学習活動に取り組もうとしている。	作品への取り組み状況 鑑賞プリントへの取り組み状況 課題の提出状況